

所在地 横浜市戸塚区原宿二丁目 572-3 外

調査期間 令和 2(2020) 年 4 月 1 日～

令和 2(2020) 年 11 月 15 日

調査面積 2313m²

担当者 渡辺 外、菊川 泉

調査概要

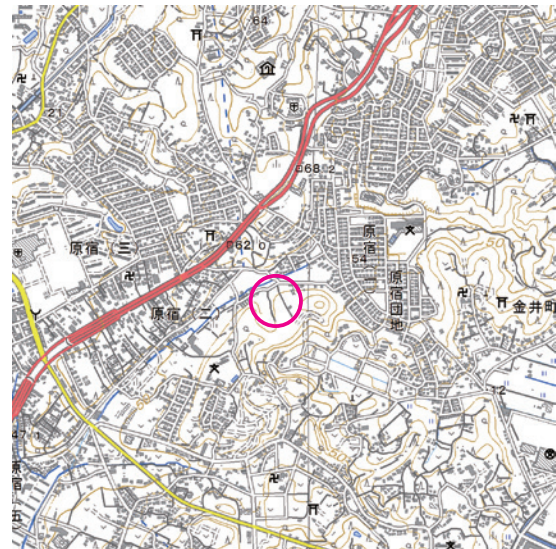
本調査は国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所による、高速横浜環状南線建設事業に伴う事前の発掘調査として実施しました。

遺跡は境川と柏尾川に挟まれた丘陵上に立地し、JR・湘南モノレール線大船駅の北西約 2km に所在します。本遺跡の調査は令和元年度から継続して行っており、近世（江戸時代）及び奈良・平安時代～中世（鎌倉～戦国時代）、ならびに縄文時代の遺構と遺物を発見することが出来ました。

近 世

溝状遺構 2 条、畝状遺構 1 箇所、土坑 3 基、ピット 1 基を検出しました。前年度の調査において、該期の遺構群は斜面地でも比較的標高の高い場所を中心に分布し、東西方向に掘った溝で土地を区画しつつ、傾斜が急な場所を段切り造成し耕作地として利用していたことを確認出来ました。今回検出した溝・畝状遺構や土坑群もまた主軸方位や配置上の関連性が見られ、耕作のために掘削された遺構と考えられます。

遺物は、18 世紀代以降の陶磁器類、かわらけの破片が出土したほか、石製品が出土しています。



第 1 図 調査位置図 (1/25000)

奈良・平安時代～中世

土坑 1 基と溝状遺構 1 条、ピット 62 基を検出しました。該期の遺構は前年度調査と同様に、調査範囲全体に散在しています。

遺物は土師器の坏・甕の他、中世陶器・かわらけの破片などが出土しています。

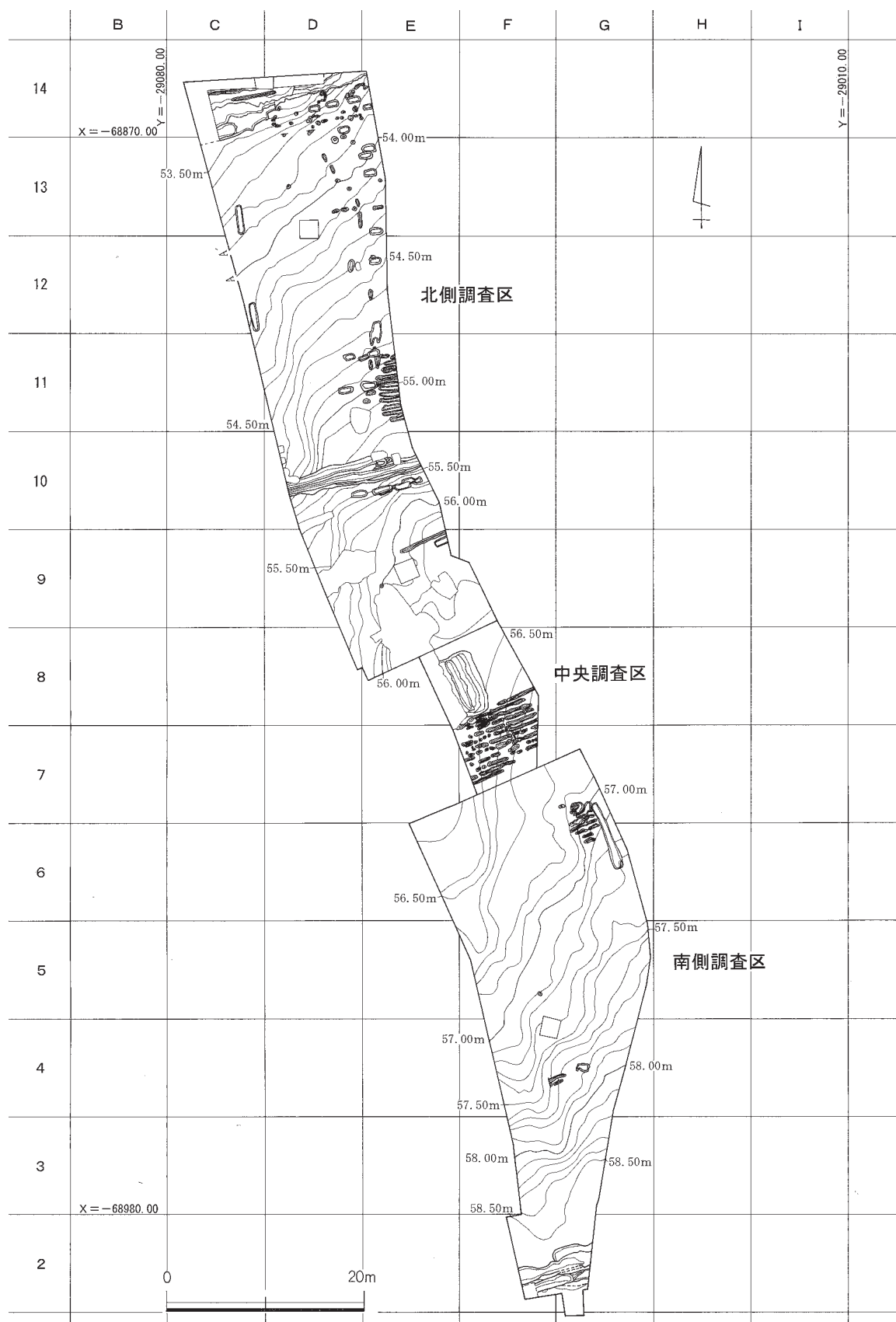
縄文時代

土坑 3 基とピット 76 基、集石 1 基を検出しました。

該期の遺構群もまた調査範囲全体で確認され、斜面地一帯に分布しています。同じ種類の遺構同士でも規模・配置上の共通性が乏しく、個別に構築されたものと推定されます。

遺物は該期の土器・石器が破片の状態で出土しています。

本遺跡の現地発掘作業は終了し、引き続き遺跡の実像を明らかにする事が、今後の出土品等整理作業における課題と考えています。（渡辺）



第2図 近世 遺構全体図 (1/600)



写真1 調査地点全景①(北から)



写真4 南側調査区 縄文時代遺構群(北から)



写真2 調査地点全景②(南から)



写真5 北側調査区 縄文時代集石(西から)



写真3 中央調査区 近世溝状遺構(北から)



写真6 縄文時代遺構外遺物出土状況(西から)